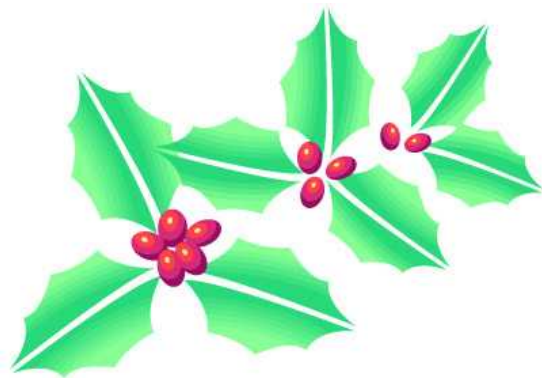


# 市民と市長の対話集会

## 第 15 回

### タウンミーティング記録集



平成20年12月20日(土曜日)

会場 秋津公民館

時間 午前10時～正午

東村山市

## 開催内容

平成20年12月20日(土)午前10時から秋津公民館におきまして、市民の皆さんと地域の課題、市政について市長と直接対話を行う「第15回タウンミーティング」を開催いたしました。

約30名の方に参加をしていただき、市政課題、秋津町地域の課題について熱心なご意見が出されました。休憩をはさみ後半は、意見カードに記入されたご意見や質問の内容について対話が行われました。時間の都合により回答できなかったご意見に対しては、本記録集の中で報告させていただきます。

### 会場アンケート結果(住所地・年齢・性別について)

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち21枚を回収しました。

#### ・参加者の住所地

本町	0	富士見町	0
久米川町	0	美住町	0
秋津町	13	廻田町	0
青葉町	1	多摩湖町	0
恩多町	0	諏訪町	3
萩山町	1	野口町	0
栄町	1	未記入	0
市外	2	合計	21

#### ・年齢

年代	参加者数
20代未満	0
20代	3
30代	3
40代	1
50代	0
60代	4
70代	7
80代以上	3
未記入	0
合計	21

#### ・性別

男性	17
女性	4
未記入	0
合計	21

# 第15回タウンミーティング記録（概要）

## 【市長あいさつ】

みなさんおはようございます。師走の何かとお忙しい中、大勢ご出席いただき心から感謝を申し上げます。

このタウンミーティングは昨年10月から開始し、その第1回目が秋津町の秋水園ふれあいセンターでした。市内13の町全てで開催させていただいて一巡し、先月から二巡目に入りました。

昨年秋津町で行った際、柳瀬川沿いに桜の木を植えられないかというご意見や、秋津駅～新秋津駅間で煙草を吸いながら歩く人が非常に多く、他の方が迷惑しており、他市で歩行喫煙を禁止する条例を設けている所もあるので、東村山市でも条例を作ってはどうかなど沢山のご意見をいただきました。桜の件につきましては、護岸に木を植えると根が護岸を傷めてしまう可能性があるとのことで、実現は難しいということがありました。また歩行喫煙の件につきましては、庁内で検討を重ね、議会にお諮りしまして、今年6月から「路上喫煙等の防止に関する条例」が施行され、秋津駅～新秋津駅間、東村山駅周辺、久米川駅周辺は歩きながらの喫煙はご遠慮していただき、喫煙エリアでの喫煙をお願いしております。市役所の調査では、秋津駅～新秋津駅間においては条例前では1時間に120人ほどが煙草を吸いながら歩いていましたが、条例施行後の今年7月の調査では、同じ時間帯で8人ほどにまで激減しました。私も10月頃であったと思いますが、新秋津駅近くに夕方1時間ほど立って様子を見てみたところ、煙草を吸っている人は1人と、完全に徹底できたとは言えないかも知れませんが、だいぶ効果はあったのではと思っております。

このように、タウンミーティングでいただいたご意見を実施でき、一定の成果が上がっていることもございます。本日も忌憚のないご意見をいただいて、できるだけ活かしていきたいと思っております。

この秋津町の今後の大きな課題の一つとして、秋水園の炉のリニューアル、延命化工事を21年度、22年度にかけて実施させていただきたいと考えております。秋水園は昭和54、55、56年の3ヵ年をかけて現在の炉ができました。平成12、13年には約30億円かけて更新工事を行い、その時にはダイオキシン対策も行っています。それから10年近く経ち、また工事の時期にさしかかっていますので、併せて耐震補強工事もさせていただきたいと考えております。周辺の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ぜひご理解をいただきたいと思っております。また、この工事で10年ほど焼却施設を活用させていただくこととなります。10年後以降については色々な考え方があり、市としてまだ明確な方針は固まっていません。市民の皆さんのご意見をいただき、できるだけご迷惑をかけないようにしていきたいと思っております。

また、市全体のことですが、東村山市は昭和39年に66000人で市政スタートし、今年10月に人口が15万人を突破しました。今、急激に景気が悪化しておりますが、東村山では住宅等もまだ比較的堅調に動いていると聞いておりますので、まだまだ人口が増える要素があるかと思っています。特にこの秋津町地区でも、秋水園の隣で住宅開発が進み、200戸ほどの住宅が増えるとのことで、生活道路等の課題もありますが、市民の皆さんと力を合わせて、住みよい東村山、住みよい秋津町地域を作っていきたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。



## 【会場でのご意見】

\* 以下は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

### 意見 タウンミーティングの効果について

(秋津町 Aさん)

このタウンミーティング1回から14回までで提案や意見が600を超えたと市報にあった。中でも多かったのが議員の削減、職員の減給だというのが、進捗状況はどうなっているのか。また、財政難なので極力無駄を少なくするとあったが、その点の進捗状況も聞きたい。

もう一つ、各種の納税期日だが、税のほかにも、年金から介護保険と所得税が引かれ、多いときは5回も支払いがあることがある。国や都などが絡むので難しいとは思いますが、これらをバランスよく支払う方法を考えてもらいたい。

市長

600件のご意見が、どのように反映されているのかということですが、いただいて対応できた部分もありますし、先ほど申し上げたように、条例制定に結びついたものもあります。昨日で12月議会が終わったのですが、議員の定数削減の請願が採択されましたことから、次回の選挙に向けて何らかの動きも考えられるかと思えます。

行政側では、給与構造改革を行ない、今まで使っていた東村山市独自の給与表から東京都の表に移行させ、公務員は地域手当というものがありますが、国から示された東村山市の基準は10%までというものなのですが、今までは東京都に合わせました。それを国の基準に下げるといった、かなり思い切った給与構造改革になっております。職員1人当たりで最低6%、平均9%の給与カットで、一番多い方だと年収で140万円くらいのカットになり、退職金も多い方だと350万円くらい下がります。今のところ4億5000万~5億円くらいの歳出削減・人件費削減になるかと思えます。財政が厳しいものですから、できるだけ市としても職員に無理をお願いしておりますし、議論のあることではありますが、民間に委託できるところは委託して歳出削減するというのもあります。

例えば小学校の給食ですが、市内15校のうちで8校を民間委託し、残り7校は直営で、公務員が給食を作っています。民間委託して10年経ちますが、特段事故もなく、子供たちからも美味しいと好評で、1校当たりのコストも直営よりは民間のほうが安くなっていますので、今後は、学校給食は民間委託化を進めていきたいと思っております。当然公務員がやらねばならない分野もありますが、委託が可能な分野については同じ事をするならコストのかからない手法を用いて、職員の数を減らしていき、スリムな市役所づくりを進めていきたいと思えます。それから今回、行革大綱を作成し一定の事業についても見直しをさせていただくことになりました。

また、ちょっと細かな話になりますが、民家のスズメバチの巣の駆除は、今まで市の税金

で駆除してきましたが、今後は業者を斡旋させていただく事になりました。非常に厳しい財政状況であります、我々も内部努力をしながら、市民の皆様にもご理解いただき、財政を立て直して新たな課題にも対応できるような市政運営を目指していきます。

納税期日の件ですが、迂闊な事でしたがご指摘いただくまで、その月々に何がどうあるのか、把握しておりませんでした。月によってはかなり過重な支払をお願いしている事がよくわかりました。今回、国保については税の見直しをさせていただくのと一緒に、期日を年6回を8回にして、1回当りの支払額を低くすることを考えております。他の税とのバランスもありますので、研究させていただきたいと思います。月によって著しく負担が増えて、払えないという事になったら市としても困りますし、皆さんも大変ご迷惑をかけることとなりますので、おっしゃるようにバランスよくお支払いいただけるように、今後研究・検討させていただければと思います。

## 意見 秋水園の周辺対策

(秋津町 Kさん)

秋津町に住んで3年ほどだが、秋水園の周りに住宅地があり、幼稚園・保育園や公園・グラウンド、ふれあいセンターなど、子どもや人の集まる場所が多い。その後ろで煙突からもうもうと煙が出ていて、健康被害はないのか、また事故に遭ったりしないのか心配になる。これから子育てを考える世代として、市長はこの現状をどう思っているのか、聞かせてほしい。

また、プラスチックの焼却を始めている自治体がある。議論のあるところだが、燃やした事によって毒性のあるものが排出されるのではと心配になるが、その点市長はどう考えているか。

### 市長

毎日、市内15万人が排出されている廃棄物の中間処理施設があるということで、秋津町の皆さんにはご迷惑をおかけしております。しかし、当市は単独で中間処理をしている関係で、市内のどこかには、このような施設がなくてはならないものであります。

秋水園は元々、し尿処理施設として昭和30年代にスタートしました。現在の炉は昭和50年代に建てられたものですが、それ以前は昭和40年代に炉を建てて焼却をしてきました。現状で、秋水園をよそに移すのは不可能でして、先ほど申しあげましたが、今の炉は平成12、13年にかけてオーバーホールをし、内部改造とダイオキシン対策を当時30億ほどかけて行いました。そういうわけで、ダイオキシンなどの問題はないと、市では考えております。炉は毎日燃やしていますので、現状では10年ほどしかもたないとのことで、今後お願いしているのは、延命化工事ということになります。

子どもたちの健康被害はと申しますと、市として行っている調査でも、基準をはるかに下回ってしまして、健康被害もないと考えております。確かに日々、パッカー車が出入りしており、ご迷惑をおかけしております。できるだけ道路の歩道設置を行っていきたく、年が

明けてから、志木街道にあるパーミヤンの信号の所から秋水園に入っていく通りの一部、今は畑になっているところですが、地主さんのご理解を得まして、一部改修をさせていただき道路を広げ、歩道を設置させていただく予定です。今後も周辺道路の整備は市としても努めていきたいと思っております。

それからプラスチックの焼却ですが、19年1月から当市は容器包装リサイクル法に基づき、容器包装プラスチックについては別収集をさせていただき、容器包装リサイクル協会に搬出させていただいております。確かに一部、燃やせるゴミに混ざってレジ袋などが入っている場合もありますが、基本的にプラスチックは現在、焼却はしておりません。燃えないゴミとして排出されているものは全て市外、埼玉県と茨城県に搬出させていただき、そちらで処理を行っております。

また、容器包装プラスチックのゴミ収集が行われてからは、汚れが落とせないプラスチックについては燃えないゴミで出してくださいとお願いしております。燃えないゴミの収集が月に1回ですので、回数を増やして欲しいというご要望もいただいております。しかし回数を増やすにはお金もかかるので、現在、汚れたプラスチックを焼却処理した場合、どんな影響・問題が生じるか実証実験をして、環境などに問題がなければ、汚れたプラスチックに関しては焼却を検討してはどうかということで、来年の年明けにその実験を進めさせていただきたいと考えております。当然、問題があれば焼却処理はしませんし、なければ我々としては、市民の皆さんのご理解をいただいたうえで、汚れたプラスチックは今後秋水園で焼却処理することを検討しております。

#### ○会場からの声○

パッカー車ですが、秋津郵便局の角の交差点から秋水園に入る道は、時速30kmの表示があるので、もう少し緩やかに走る改正をしてもらいたい。それから、午後は小学生が帰る途中、横断歩道を大勢わたるが、学校も見守りも立っていない。今まで事故はないが、とても危ない。そのあたりを考えてもらいたい。

市長

具体的にどうなのか把握しておりませんので、検討させていただきたいと思います。

#### ○ごみ減量推進課、管理課、学務課より○

パッカー車の走行速度についてですが、市が業務を委託している業者につきましても定期的に連絡会を開催し、走行速度のみならず安全運転の遵守を指導しているところであり、今後も引き続き遵守の徹底に努めてまいります。また、その他収集運搬業者につきましても今後、更なる安全運転の遵守を指導してまいります。

また、当該箇所の横断歩道につきまして、現在誰も配置されていない状況です。現場も確認いたしましたが、確かに通学路ということで、大勢の子どもたちが横断歩道を利用している状況だと思っております。今後、学務課では、秋津小学校、PTA、地域の方々及び東村山警察と密に連携を図り、互いに協力し合いながら対応策を検討していきたいと考えておりますので、何卒ご了承いただきたいと存じます。

## 意見 近隣の落葉問題

(秋津町 Aさん)

近隣の落葉に悩まされたり、家の敷地を猫のトイレにされたりと、近所の人とどうしても仲良く暮らせなくなりました。市役所は市民を差別しないで欲しい。

市長

近隣関係のお話は、基本的に行政が介入すべき話ではありませんが、お困り事があれば、時間が許す限り、お話は承るスタンスで続けております。

## 意見 ごみ処理問題について

(諏訪町 Gさん)

小学生のぜん息の罹患率が都内で一番悪いので、ゴミの焼却を止める、もしくはリサイクルを進めて、焼却炉を半減してもらいたい。市内に大きな工場もなく、道路の交通量も都内で悪いわけではなく、窒素酸化物も濃度は低いのにそういう結果がでるのは、ゴミ焼却場が市の周囲にたくさんあるからだと思う。横浜市で2ヶ所、焼却所を廃止したら、それまで悪かった地域の罹患率が3分の1に減ったという。法的規制されていない物質で悪いものもあるという研究者もいるが、どのように考えるか。

市長

先ほども申し上げましたが、当市は単独でゴミの中間処理をさせていただいておりますので、やめるとなれば代替を考えませんと、現状で単純に燃やすのをやめてしまうと処理ができなくなり、まちがゴミであふれてしまう事になります。すぐにそういう処置をとるということは、申し訳ありませんができません。

ご指摘のあった教育委員会の東京都のぜん息の罹患率ですが、現在東村山はトップではありません。東京23区、多摩地域合わせて、最も高いのは国立市で、2番目が青梅市になります。国立市は文教地区、青梅市は自然豊かな地区であり、どのような因果関係があるのか率直に言ってよく分かりません。

また、この調査は調査方法にバラツキがあり、当市ではぜん息者の人数にぜん息であると医師の診断書もらった子だけでなく、疑いがあるというお子さんも東京都に報告している関係もあるかと思えます。ご指摘のとおり、国の定めた大気有害物質について当市の濃度は極めて低くなっておりますが、一方では高い数値を示している品川区が、最もぜん息罹患率が低いなど、因果関係がわからない所があります。市内についても、秋水園が関係しているならば、秋津小学校、秋津東小学校がぜん息罹患率が高くなると思われそうですが、最も罹患

率の高いのは化成小学校で、市内で最も自然環境に恵まれた北山小学校が2番目となっており、そのあたりの因果関係がまだ完全には解明されていないというのが現状です。単純に秋水園が原因で当市のぜん息罹患率が高いとは、私どもとしては判断することは現状ではできません。様々な角度から調べる必要もありますし、他区他市のぜん息罹患率として発表されている児童・生徒数が、何をもってぜん息罹患としているのかを調査する必要もあります。

いずれにしても、市民の皆さんに不安を与えないように、科学的なデータに基づいた数値の公表を今後も求めていきたいと思えます。また、排気ガスの対応も、これまでも取り組んできたつもりではありますが、今後も周辺環境を含めて、環境に悪影響を及ぼさない形で秋水園の更新等を行っていききたいと思えます。

## 意見 秋水園ふれあいセンターの運営について

(秋津町 1さん)

ふれあいセンターの運営に携わっている者です。秋水園ふれあいセンターそのものは、迷惑施設の還元という形で設立しており、武蔵野線を境にして免除団体と有料団体に分かれています。秋津町1丁目、5丁目の皆さんの利用率が減っていることもあり、協力してもらえる度合いも減ってきている。秋津町に住む人に公平に利用チャンスを与えるという意味で、条例の改正などを考えてもらえないか。

市長

秋水園ふれあいセンターは秋水園の還元施設で、周辺の皆様に気軽にお使いいただくという趣旨で設置されております。しかしどこかで線引きしなくてはならないわけで、武蔵野線を境に有料・無料の規定が設けられたと承知しております。

今、お話のあったとおり、同じ秋津町ならば秋津町全域を無料にすべきというご趣旨だと思いますので、この場では即断はできかねますので、持ち帰って検討させていただきたいと思えます。

○管理課より○

秋水園はごみの中間処理施設として、秋津町の周辺住民の協力と理解の上に日常業務を運営しております。またふれあいセンターでは、アメニティー基金を原資に建設され市民協議会の規約等も共同して作成してきた経緯があります。ご指摘の件につきましては、指定管理者である「秋水園ふれあいセンター市民協議会」と条例を有する市が地域の還元施設との意味合いを整理し、協議を行い検討していきたいと思えます。

～休憩～



## 【意見カードで複数のご意見を頂いたテーマに関する対話】

### 秋津駅・新秋津駅周辺の整備

秋津駅周辺の開発・道路の改修の今後の計画について聞きたい。  
秋津小学校、秋津東小学校の校舎をきれいにしたい。

(秋津町 Kさん)

市長

市内には駅が9つありますが、乗降客数では秋津駅が一番多く、1日7万2～3千人が利用しておりますが、駅前広場がまだ整備されておられません。市内9つの駅の中で中心的な駅として東村山駅、久米川駅、秋津駅の3つを中心核と位置づけしており、東村山駅と久米川駅周辺は現在、駅前広場整備が進められていまして、来年には完了してまいります。今後はやはり秋津駅についてどう進めていくのかを検討しなくてはならないと考えております。

秋津駅の整備の難しさは、新秋津駅とのジョイントをどうしていくのか、が挙げられます。都市計画上では、秋津の駅前に、現在整備中の東村山駅西口、久米川駅北口と同程度、3200平米の広場が位置づけられておりますが、その広場に繋がる道路がありません。東村山駅東口からスポーツセンターまでで止まってしまっている3・4・27号線を秋津駅前まで通し、秋津駅前広場とドッキングする計画がありますが、今後何年かかるかわからないこともありますので、もう一つの案として3・4・13号線という、清瀬方面から新秋津の先まで抜ける道路を進入路として考えるのがいいのかとも思っております。

現在、秋津駅の整備については市民の皆さん、地権者の皆さんの協議会が立ち上がっておりますので、どういう形で進めていくのか決めていきたいと思っております。また、費用が非常にかかる事業ですから、今後の市の財政状況を見ながら、取り組んでいきたいと思っておりますし、駅の隣はすぐ清瀬、裏は所沢ですので、清瀬市、埼玉県、所沢市のご協力もいただかなくてはならないと思っております。

道路の改修ですが、次回の改修予定は把握しておりませんが、課題としてJR武蔵野線にかかる市道の橋が5橋ありますが、老朽化が進んでおり、橋からコンクリート片が剥落して線路に落ちる事故も起きておりますので、今年はその調査をかけ、今後状況によって耐震補強の補修をすべきかと思っております。

秋津小、秋津東小の校舎ですが、先般、秋津東小学校の創立30年の式典に行きまして、開校当時は白と黄色のツートンカラーで、洒落た校舎の印象が私にもありました。確かにその後の風雪でかなり老朽化しているな、というのが率直な感想であります。

ただ現在、市内の小学校15校、中学校7校の校舎・体育館について、順次耐震補強の工事を行っております。今年5月に中国の四川で、校舎が倒壊して児童生徒が生き埋めになっ

たり、亡くなったりという悲惨な大地震がありました。その後、国の方でも国内の小中学校の耐震補強工事を早急にするようにと、補助金のかさ上げをしております。それらを活用し、できるだけ早めに耐震補強工事を進めていきたいと思っております。

秋津東小学校については、水を屋上にあるタンクでなく、直接水道管から引くようにして、美味しい水を飲むようにするという工事を進めております。いずれにしましても、耐震補強等の工事とも併せて、校舎の外装もきれいにしていけるよう努めていきたいと思っております。

市民ではない立場から、秋津駅を利用した経験もある。秋津駅の利用者の多くは周辺住民ではなく、乗り換え駅として利用している。地域住民だけではなく違う視点も必要ではないか。

2つの駅を統合してスムーズな乗り換えができるようにすれば、市民の評判は悪いかもしれないが、広域的に見れば歴史に残る評価をされるはず。

このまま整備してしまえば、もう直すことは難しくなると思うので考えてみてはどうか。

(秋津町 Mさん)

市長

説明が不足してしまいましたが、以前、国土交通省、JR、西武鉄道、当市、清瀬市、所沢市で、駅を直結できないかという検討は実施しました。しかし、乗り換え人数が多く、駅構内だけでさばくのは物理的、形状的に難しいということでした。連絡橋を結ぶことはできても、それほど大規模なものは困難で、何割かはそちらを利用しても、残りは今までのように駅の外を歩いてもらうほかないのではないかと、ということでした。詰めきった議論ではないのですが、国の音頭で検討はしています。

また、乗り換えされる7～8割は市外の方で、特に埼玉県民が多く、埼玉県にも一定の財政的な負担を求めてご協力いただかないとなかなか難しいと思っております。

いずれにしましても、ご指摘の趣旨は我々も十分踏まえながら、地元だけではなく、利用者にとってもプラスになる整備をしなければと思っております。

地元の商店街の反対で地下道を通すという話がなくなったことがある。そう簡単にはいかないと思う。

(秋津町 Aさん)

市長

現状では詰めた話ではありませんが、通そうとしているのは地下道ではなく、秋津・新秋津駅のホームに橋を架けられないか、という検討を国がされているということです。ただ全ての人間が橋を利用するのは困難なので、トータルにどのようにすればいいのかは、今後も検討する余地があるかと思っております。

東村山駅西口の高層ビルは、どうも市にそぐわない気がする。地方交付税が削減された中、また地震などもあるかと思うが、どう考えているのか。秋津駅も同じように高いビルが建つのか。

(秋津町 Kさん)

市長

再開発の手法は、広場の土地をお持ちの方が、その権利をビルに置き換えて積み上げていく、というものです。建物の上を売り事業費の一部を捻出するので、その手法を活用してビルを作るとなれば、どうしてもビルは大きくなる傾向があります。それが当市にそぐうかそぐわないかは、美観や感覚の問題ではありますが、全く仮の話で秋津駅を再開発の手法でやるならば、やはりどこかにビルを作り、その床を確保するという事はあり得ると思います。今の段階で秋津の駅前広場を作る手法については全く未定です。駅前広場を作る方式は再開発、区画整理、道路事業の3つが多いのですが、その方法論は全くの白紙で、駅前に大きなビルを作るのか作らないのかとなると、今の段階ではどちらとも申し上げようがありません。

規模の大きな建物ができれば、周囲に影響を与えるのは事実ですから、そのメリハリをどうつけていくのが、今後のまちづくりの課題だと思います。ただ、高さ制限をかける自治体も増えていますので、今後のことは市民の皆さんのご意見を聞きながら考えていく必要があると思います。



## 【意見カードを使用した意見交換】

### 財政

(秋津町 Iさん)(秋津町 Tさん)

第三次東村山行財政改革の中に、教育関係、健康関係の改革はどうなっているのか。  
財政問題では難しい問題があると思うが、特に後期高齢者に関わる行政はどうなのか。その考え方などについて聞きたい。  
また、財政が厳しくなった要因は何か。

### 市長

東村山市には大きな工場や事業所が少ないということもありますが、現在の経済環境の中では積極的に企業誘致をしていた所も大変な思いをされています。景気がいい時には、市内に大きな工場や事業所がある所では税収が潤うのですが、残念ながら東村山市はそうではなく、代わりに国や東京都の施設が多く、もともと財政的に脆弱な市です。まだ比較的景気が安定していた平成18年度の市民一人当たりの市税収入が、多摩26市平均が17万1千円でしたが、東村山市は13万2千円で、平均に比べると約4万円ほど低かったわけです。多摩地域で最も財政力がある、武蔵野市の市民一人当たりの市税収入は当市の倍以上あります。大きな企業・工場がない、道路の整備率が低いために土地の値段などが、同じ都心から30km圏と比べても若干低めになり、固定資産税の収入も低い、ということになります。

これまで当市は国の地方交付税をもらいながら、他市並の行政サービスをしてきましたが、平成15、16、17年の3カ年にわたって行われた国と地方の税財源委譲、三位一体改革の影響が東村山市で、トータルで見ますとこれまで経常的に入ってきた収入が15億4千万円減になってしまいました。これが東村山市の財政を急激に悪化させている最大の要因で、責任逃れするつもりは全くありませんが、外的要因というか、国の制度変更で、危機的状況になったということがあります。

もう一つ、ここ数年、単年度で毎年赤字を出してありまして、赤字分を景気のいいバブル時代に積み立てていた基金を取り崩しながら、収支を黒字で決算してきました。しかしその基金も、一番いい時は全部合わせて65億ほどありましたが、今は25億ほどに減ってしまっています。今後は、基金活用で単年度の赤字の穴埋めをするというのが難しくなりつつあります。

先日新聞発表させていただきましたが、この財政危機をなんとか乗り越えようと第三次行財政改革後期実施計画を作成し、これに基づいて懸命な努力をさせていただいております。先ほども申し上げましたが、その第一弾として職員の給与構造改革をして4億5千万ほどの歳出削減をさせていただいたところです。その他、恐縮ですが市民の皆さんにもご協力いただき、いくつかの事業についても見直しをさせていただくところであります。

健康関係でいいますと、今回項目として挙げさせていただいている 1 才 6 ヶ月の健診事業を、3・4 ヶ月健診、3 才児健診に合わせて、回数を減らさせていただく予定です。

教育関係では、秋津町地区とは直接関係ありませんが、北山小学校では畑を借りていたものを、地主さんの希望もあり、返還させていただきました。また、小中学校の就学奨励事業の認定基準あるいは援助項目の見直しをさせていただく予定です。高齢者に関わるものにつきましては、調髪事業について、回数減の見直しをさせていただく予定など、教育関係、健康関係、後期高齢者に関わる部分では、このような再編成を考えさせていただいております。

## 学校の安全対策

(秋津町 A さん)

学校の敷地の中の安全対策・不審者対策について

### 市長

校内の不審者対策では、市内の小学校 15 校に防犯カメラを設置しております。正門・裏門からの侵入についてはチェックできる体制になっております。しかし、付きっきりでモニターを見ている人がいるわけではないので、それが今後の課題かと受け止めております。

それから各学校では警察と連携して、不審者が入ってきた場合の対策・訓練を行っております。学校外では、子どもたちに安全教育を警察で順次行っていただいております。これも財政が厳しいこともあり、各学校や地域にガードマンを配置して安全対策とするというのは難しいことでして、学校の外に関しては市民の皆さんにご協力いただいて見守りなどを行っていただいております。今後も、学校の内外で子どもたちが事件に遭わないように、市民の皆さんと連携して取り組んでいきたいと思っております。



## 観光

(萩山町 Aさん)

北山公園・八国山・うどんなどの観光資源を、市外にもっと発信すべきではないのか。また、東村山駅からグリーンバスを容易にアクセスできるようにするべきでないのか。

### 市長

議会や、各町で行われてきたタウンミーティングでも、「お金がないのだから、切り詰めることも大切だが、もう少しまちを活性化することも考えたらどうか」というご指導をいただいております。市内にせっかく、トトロのふるさとといわれる八国山、初夏には170種10万本の菖蒲が咲く北山公園などがありますので、それらを有効に活用して、少しでも多くの方に東村山を訪れてもらい、散策をして楽しんでいただき、市の活性化に繋げることはできないかという取り組みをしているところです。

昨年からは商工会を含めて観光連絡会を立ち上げて、どのようにしていくかの話をしているところで、先般、提案書がまとまり、実施に向けて準備がされていく段階になりました。市役所には観光を所掌する部署がありませんので、今後、観光担当のセクションを設けて、市民の皆さんの力をいただきながら進めていきたいと考えております。

各市ともいろいろな取り組みをしていますが、東村山は幸い、資源としてはいろいろなものがあります。しかしPR力が弱いので、そのあたりにも力を入れていく必要があると思っております。秋津でしたら、宮崎駿さんや多くの方にご寄付をいただいて残すことができた淵の森と対岸の緑地があります。宮崎さんは観光地化するのを非常に嫌がっておりますが、市としてはやはり、少しでも活用できないかと思っております。

それから先日も新聞に出ましたが、JR新秋津駅の駅員さんが新秋津駅のキャラクターを作られ、好評だとも聞いておりますので、そういった方々とも連携しながら、住んでよし、訪れてよし、といわれる東村山にしていきたいと思っております。

数年前に12チャンネルの「アド街ック天国」という番組に東村山が取り上げられた時には、放映後しばらくは、あの番組に出たお店はととても賑ったそうです。ローカルな有線テレビも含めて、やはりマスコミに取り上げていただける工夫をしていきたいと考えております。

## 環境

(秋津町 Mさん)

旧西武グラウンドに建設中の建物に入居する人たちの自動車対策はどうなっているのか。おそらく200台近い自動車があることになると思うが、入口出口は1つしかない。朝夕は多くの自動車が入り出すことになると思う。先の話ではあるが、事故が起きてからでは遅いので、その対策について聞きたい。

### 市長

かなり大きな課題だと受け止めております。あそこが開発されるにあたっては、所沢市ともずいぶん協議を行い、何とか所沢側に人道橋ではなく車が通れる橋にして欲しいとお願いしてきた経過があります。一応、車も対応できる強度の橋を架けていただきましたが、なかなか所沢側の住民の方の理解が得られず、あくまでも歩行者だけ、という形の橋になっております。今後も継続して、所沢市には橋の方から出入りができるように、粘り強くお願いしていきたいと思っております。

また、車の通りとしては秋津新道、読売新聞からパーミヤンに抜ける道と、秋津橋を抜けスーパーさえきの方から所沢方面に行く車があるかと思えます。いずれにせよ、その2本とも非常に狭い通りで、家も道路に沿って建てられておりますので、これから拡幅して歩道をつけるのは難しいと思っておりますので、今回の司会の方からも、もう少し速度規制を強化するなどの対策を警察と協議したらどうかとのアドバイスをいただきました。私も、今の段階でとり得る対策は、それくらいしか思い浮かばないのですが、警察と協議して事故などがないようにしていきたいと思っております。状況を見ながら、道路を拡幅できるところは拡幅させていただき、信号の設置、歩道橋の設置なども警察と協議しながら進めさせていただきたいと考えております。

### ○会場からの声○

市と警察と建物業者とは、話し合ったことはあるのか。

### 市長

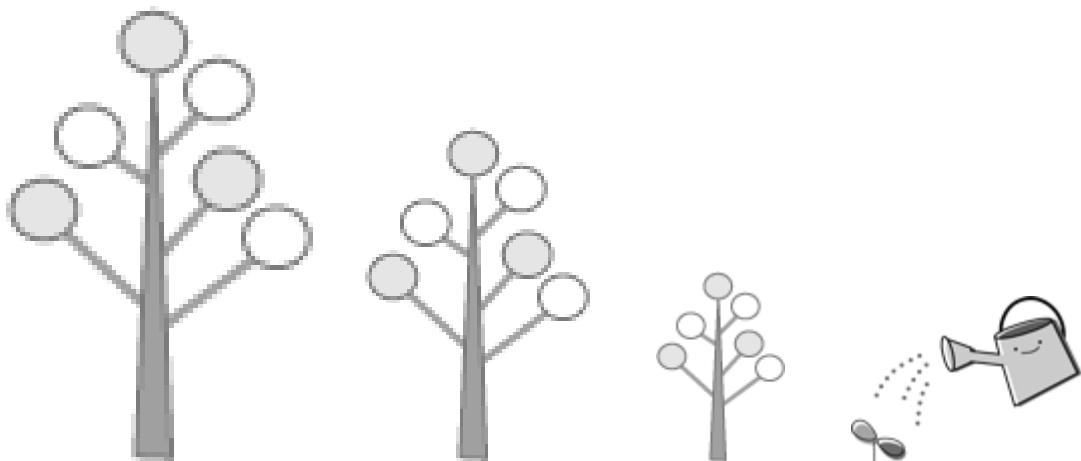
直接警察は入っていませんが、市は随分協議させていただいております。市として一番困る状況は、宅地開発地のすぐ隣が秋水園ですので、そこから出る音と振動が問題となり、操業ができなくなるようなことになると、市民の皆さんの生活に大きな影響がでてまいります。ですので開発計画の段階から秋水園側にはできるだけ緩衝地帯の緑地を設けてほしいと交渉をしたり、市が土地の一部を開発業者から購入して緩衝地帯を設けたという経過があります。交通の問題も、所沢側に抜ける橋梁の設置を事業者に働きかけ、所沢市とも協議してきた経過があります。

## 市長まとめ

限られた時間でありますので、言い足りなかった、または私の回答では不満足という方もいらっしゃるかと思います。今の市の現状、私の考え方はお伝えさせていただいたとおりです。

それから、東村山市では今後、第4次総合計画という、10年ほどの長期計画を策定させていただきます。先般の市報などでも応募していただいたのですが、ワークショップ方式で直接市民の方に計画の骨子づくりをしていただくと呼び掛けさせていただきました。残念ながら昨日が締切日だったのですが、市内から70名ほどご応募をいただきました。一番若い方で20代、一番高齢の方では80才を超える方がご応募していただいております。今後、ワークショップ、それからこのように地域に出かけて地域の声を直接聞かせていただいたりしながら、10年後の東村山がどうあるべきか、財政の厳しい中で課題もたくさんあり、何を優先すべきか、どういうまちを作っていくのかを、ご意見をいただきながら進めさせていただきたいと思っております。また、ご参加いただければありがたいです。

本日は長時間にわたり、貴重なご意見を数多くいただきました。もう年の瀬ですので、結びにあたって、皆さまにとって素晴らしい新年でありますよう、ご祈念させていただきご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。





## 開催情報

対 象 市民の方（在勤・在学の方含む）

申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越してください。

（手話通訳者が必要な方は、開催日の2週間前までにご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 企画政策課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

	開催日	会場	時間
第14回	終了しました	多摩湖ふれあいセンター	午前
第15回	終了しました	秋津公民館	10:00
第16回	平成21年1月17日(土)	ふるさと歴史館	}
第17回	平成21年2月21日(土)	久米川ふれあいセンター	
第18回	平成21年3月21日(土)	恩多ふれあいセンター	正午



## 参考

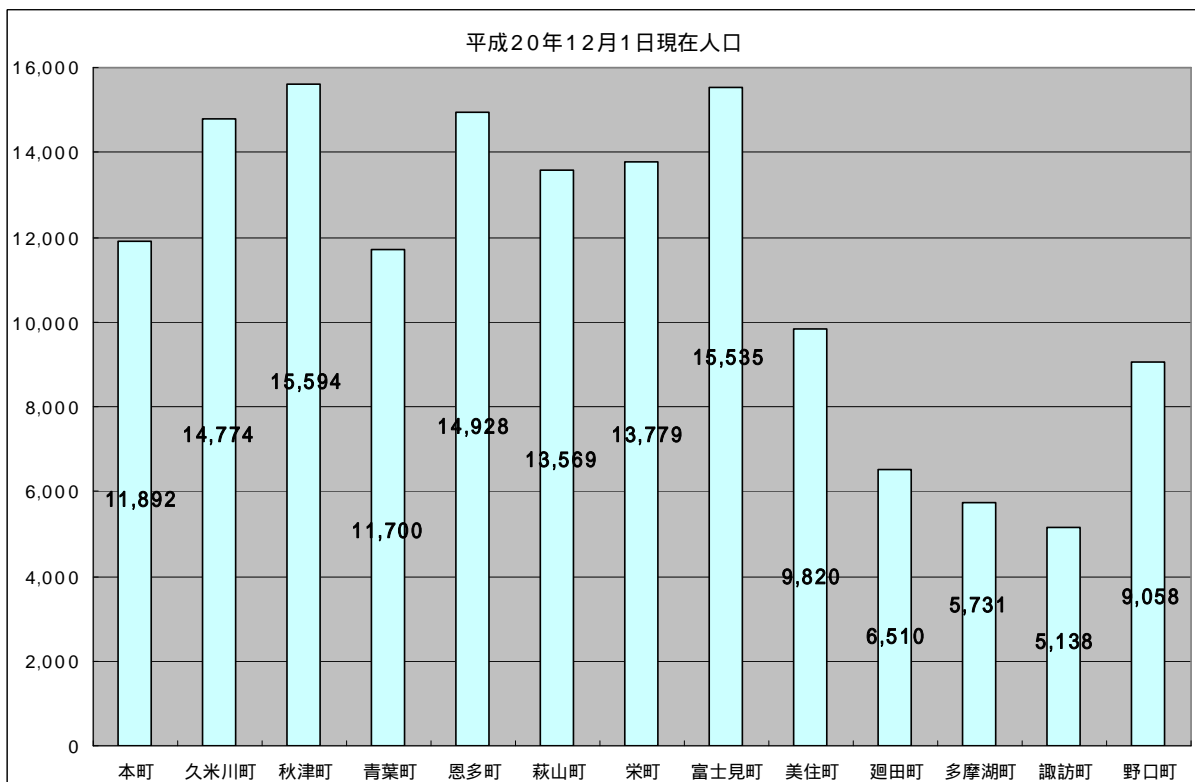
意見カードに記入された意見の分野別件数。

分野	件数
1. 健康・福祉等	0件
2. 子ども・防犯等	0件
3. 緑・環境等	3件
4. 交通・都市整備等	1件
5. 施設関係	1件
6. 政策・財政等	0件
7. その他	1件
合計	6件

平成20年12月1日現在の東村山市住民登録人口

人口総数は150,116人。(内、外国人登録者数は2,088人)

(住民基本台帳に基づく)



市民と市長の対話集会  
第15回  
タウンミーティング記録集

発行 平成21年1月  
東村山市役所政策室企画政策課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
042(393)5111 (内線2215)